

「ITユーザ賞」を受賞

熊本県の 肥後物産 得意先と情報を共有

熊本産地の大手い製品卸商社、肥後物産(株) (本社熊本県八代市、平崎理社長) は、九州経済産業局の「九州IT経営応援隊」主催の「平成21年度九州IT経営力大賞」に入賞し、得意先・顧客とのオンライン化で情報を共有して商談をすすめるなど情報化を図ることによって、畳表の需要拡大に寄与しているとの評価などから「ITユーザ賞」を受けた。この1日午後2時から福岡市博多区の博多都ホテルで開かれた「平成21年度九州IT経営力大賞」表彰式・記念講演の席上で「ITユーザ賞」受賞者として表彰を受け、喜びに沸いている。

九州経済産業局主催の大賞選定で

この「九州IT経営力大賞」は、経済産業省が平成16年度から中小企業経営者

等がITを活用して経営革新と生産性向上を図るIT経営の実践に自主的に取り

組むことを促す官民連携のネットワーケ(IT経営応援隊)を通じて、地域連携

IT経営実践の成功事例を広く収集して、その功績を称えて、大賞、特別賞、ITユーザ賞、ITサポート賞、ITパートナー賞など6つの部門で表彰するもの。今回で3回目。

同社は、「平成21年度九州IT経営力大賞」表彰式で佐賀県の鳥栖倉庫(株)とともに「ITユーザ賞」に輝き、表彰を受けたもの。同社では、「お得意さまから日ごろネット発注システムを使用された感想やコメントなどをいただき、それが今回の受賞につながったものと感じております。また、

IT活用の考え方や使い方が評価されたと思います。日ごろのご支援に感謝します」と喜びを話している。

オンライン化で成功

《選考理由》 熊本県産

「畳表」の産地問屋として、全国の畳材料店と畳店に卸業を展開。中国産に押され、国産畳表の需要が減少するなかで、「社内の在庫・販売システム」をネット上で一部顧客と情報共有することにより、オンラインで同じ在庫の画面をみながら商談を進めることができ、営業の効率化につながっている。

る。また、顧客と共有するデータベースには顧客が評価を入力できるようになっており、評価が高かった商品が入荷した場合、お知らせのメールが自動で届くなど顧客サービスとしても活用している。また、パソコンを持たない顧客には、携帯電話でタイムリーに畳表の市況や価格を通知できる仕組みを構築したり、消費地問屋でまだホームページを持たない取引先のウェブ上での情報発信の支援をおこなうなど、畳表の需要拡大に寄与している点で評価された。